

和歌山県小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法医療従事者等研修会開催要領

1. 目的

がん・生殖医療の現状や取組等に関する知識と理解を深めるとともに、がん患者等に寄り添ったきめ細かな妊孕性温存に関する相談技術の向上と相談支援体制の充実を図ることを目的とした研修会を開催する。

2. 実施主体

和歌山県、和歌山県がん・生殖医療ネットワーク

3. 実施時期

令和5年2月16日（木）18時30分～20時30分

4. 実施場所

オンライン開催（Microsoft Teamsによる配信）

5. 対象

がん等治療施設の医療従事者
妊孕性温存療法実施医療機関の医療従事者
妊孕性温存療法の相談に従事する者

6. 研修内容

(1) 主催者挨拶

和歌山県福祉保健部技監 野尻 孝子

(2) 座長（司会）挨拶

和歌山県がん・生殖医療ネットワーク代表
日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長 吉田 隆昭先生

(3) 未来につなぐ小児・AYA世代患者の妊孕性温存 50分（質疑含む）

うつのみやレディースクリニック院長 宇都宮 智子先生

(4) AYA世代の心理的特性をふまえた妊孕性温存の心理支援 50分（質疑含む）

こころの総合診療室 Canal 勾当台 心理室長 渡邊 裕美先生

(5) 和歌山県の妊孕性温存支援の取組について 10分（質疑含む）

和歌山県健康推進課がん・疾病対策班